



災害時のごみと資源の分け方・出し方

地震などの大きな災害が起きたときのごみと資源の分け方・出し方も決められているよ。



生活ごみ・避難所ごみ

・いつもと同じように、日々の生活から出るごみ
(例) 燃やすごみ、缶・びん・

ペットボトル

・使った後のトイレパック



片付けごみ

家の中の片付けで出るごみ

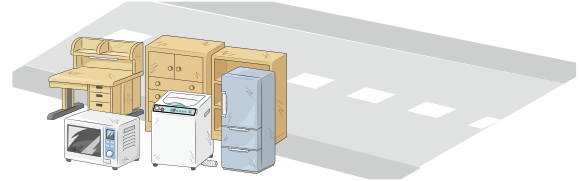
(例) 壊れた家具・家電等



いつもと同じ分け方・出し方のルールで、ごみ集積場に出してね。

使った後のトイレパックは、トイレパックだけを袋にまとめて、燃やすごみとして出してね。

生活ごみの集積場所とは別の交通のじまにならない場所に出してね。



トイレパックを用意しておこう！

トイレパックとは、水道が壊れたりして家のトイレの水が流せなくなったときでも、水を使わずにおしっこ・うんちができるトイレのことだよ。凝固剤^{ぎょうこざい}(※)で袋の中のおしっこやうんちを固めて、燃やすごみとして出すことができるんだ。

いつくるかわからない地震などの災害に備えて、家に最低3日分のトイレパックを用意しておこう。1人あたり1日5回トイレに行くとすると、1日5回×3日分×人数分のトイレパックが必要だよ。



※凝固剤：おしっこやうんちに含まれる水を固まらせるもの



3人家族なら1日5回×3日分×3人で45セットだね。